

基本情報



【年齢】
30歳
【出身地】
大阪府大阪市
【転出元】
奈良県奈良市
【前職】
バリスタ
【活動時期】
R4.5～

協力隊に応募したきっかけ

都会ではなく、地域での暮らしに関心があったこと。地域コミュニティにコミットしやすい形でまちづくりに関わりたいと思ったこと。自分のスキルを生かしながら仕事ができる業種であったことを理由に、地域おこし協力隊という仕事に興味を持ちました。既に活動をしている友人に話を聞いたり、様々な地域に出向いたりし、地域おこし協力隊でもそれぞれの自治体などで内容も異なることを知りました。調べているなかで一番ご縁を感じた韮崎市に移住をしたいと思い、今に至ります。

今後の抱負・任期後の目標

現在一年目ではありますが、この約半年の間にさまざまなイベントなどを重ね、地域の人と接する機会も多く持つことができました。今後は、自分の退職後も地域が持続的に活発な活動やイベントを打ち出せるように、街の人が主体的に街に関われるような仕組みづくりをしていきたいと考えております。任期後は周辺地域に定住し（拠点を持ち）、本職であったコーヒーや、過去に仕事にしていた本や写真をきっかけに、地域の情報発信やイベントなどを個人的にも活動のひとつとして継続していきたいと思っております。

活動内容

●駅横情報掲示板の利活用

駅横に情報掲示板というコミュニティスペースが設けられていますが、まだまだ認知が少なく、地域の人々が活用するには難しいようでした。着任してからまずはじめに、この街の歴史を調べ、地域のことを皆さんにも知って貰えるような展示会を開催。利活用の実績としても、今後の手本となれば幸いです。



●左官ワークショップ

韮崎市に新しくできるお店（ピザ屋）の壁の左官をみんなで一緒に体験するワークショップを開催。地域の人と一緒にすることで、お店に愛着を持ってもらいたい。そして空き家対策の一環としてリノベーションを推進するなか、自分たちでDIYをする楽しさを共有していきたいという意図のもと行いました。



●家財持ち出し大作戦

恵比寿屋という古くから街の人に愛されてきたビルを新しくリノベーションすることに。施工が始まる前に、ビルのなかにあった荷物などをみんなで掃除しながら、好きなものは持ち帰ってもらうという企画。地域のご老人から若い学生まで、このビルの思い出と一緒に、次世代へ繋ぐイベントとなりました。



連絡先